



引き返す

江文峠方面への看板は、斜め左への矢印がありその方向へ進む。途中、赤色テープもあるため尚も進むが枝尾根に入り込み道迷い。確実に分かる寒谷峠まで引き返した。

江文峠方面へ。斜めの矢印。斜めの矢印だから左へ登っていく道だろうと……。正解は右でした。寒谷峠で左の尾根に登った後、迷走して西方の枝尾根に行ってしまう、分からないので寒谷峠に戻りました。40分ロス。寒谷峠から江文峠は、右の平坦道に行くのが無難です。江文峠手前から西に坂原峠まではGPS起動で慎重に行きました。
(HP参照)

寒谷峠で方向を変えなければ、正しい尾根に行くことはできないのだが、看板を頼りに歩いてしまった事例。また、赤テープを頼りに歩いてきたために起こる道迷いの事例は比較的多い。

したがって、道に迷わないためには、地図の先読みが大切で、看板や赤テープは補助的に考えないといけない。

一方で、地図アプリを使用している登山者は年々増加し、道迷いを原因として、警察に救助を求める件数の割合は令和4年（36.5%）、令和5年（33.7%）と若干減少した。しかし、全体の遭難者数は増加傾向にあることから、登山地図アプリの記録投稿・共有機能が、無計画・実力不足の登山者を増やし、そのうちの少なくない数が遭難事例を起こしたり、安易な救助要請（遭難事例化）をしている可能性がある。